

Title	オンライン授業報告書(SDGsに関する大阪大学実績報告書) まえがき
Author(s)	
Citation	
Issue Date	2021-03-31
oaire:version	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/81412
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

まえがき

本書は、2020 年度に大阪大学 CO デザインセンターにおいて開講された SDGs に関連する授業（「地球市民の健康管理Ⅰ」、「多文化サポート概論Ⅰ」）についての報告書であり、同センター教授の林田雅至先生の定年退職を記念して刊行された論文集である。2020 年度に前掲の授業にゲスト講師として参加した登壇者をはじめ、これまでの活動の中で深いご関係をお持ちの方々からの寄稿によって構成されている。

第Ⅰ章では、新型コロナウイルス感染症の拡大によりオンラインで実施された授業に参加した登壇者ならびにオブザーバーによる授業報告をまとめた。第Ⅱ章ではさらに専門的な分析的視点で、コロナ禍における大学教育と国際交流のあり方が論じられている。そして第Ⅲ章では、社会の様々な分野に視野を広げ、林田先生と交流を持った方々の活動や思いに触れる。最後に、第Ⅳ章では先生の活動の足跡を辿るレポートを掲載している。

まずは以下に林田雅至教授の略歴を紹介する。林田雅至教授は 2007 年 10 月より大阪大学コミュニケーションデザイン・センター（現 大阪大学 CO デザインセンター）に所属し、主な研究内容・専門分野は、ポルトガル語圏文献学、図像解釈学を基軸とする視聴覚外国語教育への応用研究、メディア・リテラシー研究、医療・司法言語学イノベーション学、外国語教育関連、ポルトガル語圏を中心とするユネスコ運動、ポルトガル語圏の芸術・音楽・映画の普及活動やスポーツ文化事業など、様々な社会活動と連携。中でも石見銀山世界遺産登録プロジェクトでは、歴史文献調査で貿易文書発見・整理作業に尽力し、展示検討委員として図版解説・翻訳、美術品選定・展示交渉担当、ロジスティックなどを手がけた。また、異文化交流事業や外国人支援実践にも取り組んでいる。2010 年にポルトガル文化功労賞（学術博士、OM）を受賞。

本書を通読すれば、林田先生の飽くなき探究心、何事も実践する実行力、そして多様な人々との関係を大切にされる熱意を感じることができる。私は、先生こそ真の多言語・多文化コミュニケーション・デザイナーであると確信している。本書が一人でも多くの人の目に触れることにより、その教えと志を継承しさらなる次元へと推し進める活動の輪が広がることを願って已まない。

印南敬介